

## 会議録

会議の名称	第4回所沢市教育振興基本計画審議会
開催日時	令和5年11月29日(水)午後3時00分～5時00分
開催場所	所沢市役所7階 研修室
出席者の氏名	中川 瞬、三原 由紀子、古山 智啓、新井 政明、柏崎 年己、赤堀 侃司、及川 道之、伊東 真吾、吉川 英一、小倉 理恵
欠席者の氏名	松森 有美、井上 典之
説明者の職・氏名	教育長 中島 秀行、教育総務部長 千葉 裕之、 学校教育部長 中田 利明、教育総務部次長 池田 淳、 学校教育部次長 櫻井 誠、社会教育担当参事 糟谷 苗美、 学校教育担当参事 吉川 誠、教育センター担当参事 中村 啓、 教育総務課長 鈴木 健、教育総務課主幹 北村 史恵、 教育施設課長 遠山 秀仁、スポーツ振興課長 三上 佳明、 文化財保護課長 稲田 里織、所沢図書館長 橋本 浩志、 保健給食課長 渡辺 純也、教育総務課主査 名雪 晋祐、 教育総務課主任 新井 航、教育総務課主任 田島 郁美
議 題	1 開会 2 教育長挨拶 3 議事 第3次所沢市教育振興基本計画素案の検討 4 連絡事項 5 閉会
会議資料	・次第 ・座席表 ・第3次所沢市教育振興基本計画 素案
担当部課名	教育総務部 教育総務課 電話：04-2998-9232

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局 教育長 会長	1 開会 2 教育長挨拶 3 議事 ※傍聴者なし。
事務局	第3次所沢市教育振興基本計画 素案の説明
会長	始めに、序章について意見をいただきたい。
委員	計画期間が5年間と長いため、「その都度修正を加えます」のような文言を加えてはどうか。
会長	計画期間中に内容を修正することは可能か。
事務局	基本的には、この内容をベースにして取り組んでいくものであるが、時代の変化に合わせて、その都度求められているものに対応することも必要だと考えている。単年度の実施計画として、本計画の内容を基に、より具体的な取組を記載している「所沢市教育行政推進施策」を毎年度作成している。新たに取り組むべき課題が発生した際には、そちらで掲げていくことでカバーしていく。
委員	現時点からこの計画が発行されるまでの間にも世の中が変わっていくことが考えられるので、素案1ページの計画策定の趣旨や、3・4ページの教育を取り巻く社会の動向で使用する言葉に気を付けてもらいたい。「～います」ではなく「～いました」と過去形にするなどし、発行時にも違和感がないようにしてもらいたい。
副会長	この計画の下支えになるのが、「点検評価報告書」であると思う。各事業について毎年点検・評価を行っているはずだが、2ページの計画の位置付けの表には「点検評価報告書」の記載がない。点検・評価がこの計画にどう生かされているのか、考えを伺いたい。
事務局	「点検評価報告書」は、62ページの計画の進行管理に記載している。点検・評価に基づき事業を改善し、次年度に繋げるサイクルを示すため、こちらに記載している。
会長	続いて、第1章について意見をいただきたい。
会長	5ページの第2次計画の成果に、CEFR A1相当とあるが、読み方は「エーアイ(AI)」、「エーワン(A1)」のどちらか。

<p>教育センター 担当参事</p>	<p>「セファール エーワン」である。</p>
<p>会長</p>	<p>アルファベットの I (アイ)に見えるので、表記を調整してもらいたい。</p> <p>また、5 ページの今後の課題に、「一人ひとりに合わせて個別最適化された学びを実現するため」とあるが、2 次計画には「協働的な学び」の記載はなかったか。個別最適な学びと協働的な学びは、ペアにして記載されることが多い。ここでは特に、個別最適な学びの実現が課題であることを強調しているという解釈でよろしいか。</p>
<p>教育センター 担当参事</p>	<p>この文章は学習に困難のある児童生徒への対応について述べているため、個別最適な学びのみを取り上げ、強調して記載している。実際には協働的な学びとセットで取り組んでいる。</p>
<p>副会長</p>	<p>成果には結果を、課題には問題点を記載してもらいたい。成果について、「図りました」「励みました」とあるが、図った結果何を実現できたか、できなかったかが重要なのではないか。結果が出なかったものは課題として記載する必要がある。</p> <p>課題には、「～の必要があります」「～が求められます」とあるが、問題提起とは程遠い印象を受ける。「～の不足」「～の充実」などと体言止めで記載してもよいと思う。</p> <p>また、部署によって文章構成が異なり、統一感がない。統一した言い回しとなるよう、事務局から働きかけてもらいたい。</p>
<p>会長</p>	<p>10 ページの今後の課題の「スマートフォンや電子書籍の普及により、図書館離れや紙の本から離れる傾向が予測される中、資料のデジタル化や電子図書館等の推進により、読書との接点を充実させる必要があります」について、文章の趣旨を説明してもらいたい。</p>
<p>所沢図書館長</p>	<p>図書館離れは、毎年市内の小学2年生・小学5年生・中学2年生を対象に行っている子どもの読書アンケートの結果からも読み取れる。インターネットやスマートフォン・ゲーム機器など、選択肢が増えたことも、子どもの読書離れの一因であると考えている。電子書籍等の導入により紙以外の本でも読書が可能となり、読書の選択肢が広がることで読書との接点が充実し、子どもたちが読書を習慣化できるのではないかという考えである。</p>
<p>会長</p>	<p>紙でも、デジタルでも、どちらの媒体を介したとしても、読書との接点を充実させることを目指していると理解できた。</p>

委員	<p>今後の課題に記載しているものは、3次計画で取り上げるという解釈でよろしいか。13ページの「地域とともに歩む信頼される学校づくりを進めます」について、2次計画には学校運営協議会制度に関する記載はなかったが、今後力を入れていく取組であるので、今後の課題に記載してはどうか。</p>
委員	<p>第1章の課題を受けて、第3章の3次計画の内容に生かされていると思う。今、意見のあった「地域」と「学校づくり」についても、第3章の「コミュニティ・スクールの導入・推進」で触れられている。課題を深く掘り下げるより、課題をどう生かしていくかという未来の展開がきちんと書かれていることが大事だと考える。</p>
会長	<p>2次計画の課題と、3次計画の内容の整合性はとれているのか。</p>
事務局	<p>2次計画の課題が3次計画の内容につながるように、意識して作成している。</p>
会長	<p>続いて、第2章について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>意見なし。</p>
会長	<p>続いて、第3章について意見をいただきたい。</p>
会長	<p>22ページの「ICTを活用した学習の推進と情報活用能力の育成」に、「情報モラル等に関する知識を習得させます」とあるが、知識を習得しても実行できないと意味がないので、「情報モラル等に関する知識と態度を身につけさせます」としてはどうか。</p> <p>また、23ページの「小中学校9年間を見通した教育の推進」について、他の自治体では9年間の義務教育学校設置に盛んに取り組んでおり、中1ギャップ解消につながるものであると思う。</p> <p>さらに、小学校の教科担任制についても盛んに議論されているところである。今後何年か間に、教科担任制の導入は相当進むと思う。これらについて触れなくてよいか気になった。</p>
委員	<p>35ページの「環境教育の推進」に、「市長部局と連携し」とあるが、市長部局との連携は環境教育以外でも行っているのではないか。例えば、23ページの「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続」や、36ページの「教育相談体制の充実」などでも協力してもらっている。</p>
事務局	<p>素案の中で市長部局との連携と記載しているのは、「環境教育の</p>

	<p>推進」のみであるが、実際には他の取組でもそれぞれの担当部局と連携している。市長部局と連携しているすべての取組に記載すべきか、または、当然連携しているものであるということと、この計画が教育に関する計画であるということ踏まえ、限られた一部の分野でしか連携していないという誤解を与えてしまうことがないように、あえて記載しないという考え方もできるが、意見を伺いたい。</p>
委員	<p>先ほど述べた分野は、特に学校との関わりが深いものなので、記載したほうが良いと考える。</p>
事務局	<p>具体的に指摘のあった取組のように、特に深い関わりのあるものについては、記載することを検討する。</p>
会長	<p>いじめや不登校への対応について、所沢市の教員はよく頑張っていると思う。相談相手についての調査で、児童生徒は教員に相談することが一番多いという結果が出ている。教員の仕事は学習指導がメインであるが、同時に、子どものカウンセラーでもあってもらいたいというようなことを記載できないか。</p>
委員	<p>33ページの「キャリア教育の充実」の下に掲載されている糀谷八幡湿地での稲刈りの写真について、この活動を行っている学校から、キャリア教育ではなく体験活動と位置付けであるとの意見があったので、事務局に伝えたところ、33ページに記載している取組に関する写真を下部にまとめて掲載しているとの回答であった。しかし、24ページに記載されている「読書活動の推進」に関する写真は25ページの「郷土愛を育む教育の推進」の下に掲載されており、違和感がある。また、43ページに記載のある「ほうかごところ」の写真は44ページ下部に掲載されており、そのすぐ上の「PTA活動の支援」に関する写真であるように見えてしまう。掲載場所を工夫できないか。</p>
事務局	<p>写真は、同じ施策内で掲げられている取組に関連したものを掲載するという考えで配置しているが、ご指摘のとおり、見やすさを考えると、その取組が記載されているページに関連する写真が掲載されている方が望ましい。レイアウトの都合上、調整が難しいページについてはキャプションに説明を加え、どの取組に関連する写真かが伝わりやすくなるように工夫しようと思う。</p>
委員	<p>40ページの「日本語教育の推進」の取組の具体例について、市役所や公民館で開催している日本語教室などを加えてもらいたい。</p>

社会教育担当 参事	このページは日本語を母語としない児童生徒への支援に特化して記載している。社会教育課は、大人を対象とした日本語教室の開催に携わるボランティアの支援を主としているため、日本語教室は記載していない。
委員	公民館で行っている日本語教室には子どもも参加しているのではないか。
社会教育担当 参事	その通りであるが、日本語教室はボランティア団体が主催している事業であり、教育委員会が主体ではないため、記載しない。
委員	43ページの「放課後の居場所づくり」の取組の具体例に「放課後支援事業（ほうかごところ）」とあるが、現時点では全市的な取組ではないと思う。今後の取組についての考えを伺いたい。
学校教育担当 参事	現時点では、これ以上の拡大は考えていない。すでに設置しているものを充実させるという意味で記載している。
委員	48ページの「家庭・地域と連携した防犯・防災体制の推進」について、家庭と地域の連携は今後大事になると思う。年に1回、市主催の防災訓練を行っているが、取組の具体例の「学校と市が連携した防災訓練」について、具体的にどのような取組を検討しているのか伺いたい。
学校教育部次長	市主催の防災訓練のことを指す。学校を会場として行っており、教員や子どもたちに参加を促している。
委員	44ページの「PTA活動への支援」について、具体的にどのような支援を行うつもりか、考えを伺いたい。
社会教育担当 参事	具体的な支援の内容については、今後検討の余地があると考えている。所沢市PTA連合会が主体となって進めている様々な改革に対し伴走して支援するつもりだが、具体的な支援方法は所沢市PTA連合会や、学校及び保護者とコミュニケーションを取りながら決めるつもりである。
委員	43ページの「コミュニティ・スクールの導入・推進」について、今後力を入れて取り組みたい事業であるため、内容のボリュームアップを検討してもらいたい。先ほども述べたが「市長部局との連携」がここにも記載があると良いと思う。また、「地域とともに歩む」や「地域総がかり」という表現を入れてはどうか。

	<p>また、教員不足の現状について、状況を知ってもらうためにも、市が行っている取組について記載してはどうか。</p>
会長	<p>続いて、第4章について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>66ページの「家庭教育関連事業への参加者数」の目標値として いる人数は多いのではないか。 「ICT機器を使って、子どもたちの新たな学びを実現するスキル を持った教員の割合」の「新たな学び」とは何を指すか。</p>
教育センター 担当参事	<p>教室にはタブレット端末や大型モニターなど、様々なICT機器 が整備されており、教育環境が5年前と大きく変わっている。ICT 機器を使用して新たな授業を創出することで、子どもたちにICT 機器を鉛筆やノートと同じように柔軟に使いこなせるようにな ってもらいたいということで、「新たな学び」と表現している。</p>
会長	<p>最後に、委員一人ひとりから、全体を通しての意見や感想等を伺 いたい。</p>
委員	<p>前回の素々案と比べて、よくまとめられており、読みやすい計画 であると思う。 現状での記述であり、計画の中で具体的なことを詳細に触れるの は難しいところもあるという印象を受けた。</p>
委員	<p>前回の素々案から大分修正が入り、このような形となり凄いなと 感じている。 この場に参加させていただいて、やらなければならないと気持ち を引き締めている。校長を代表する立場として参加したことを踏ま え、校長会でも話をしていきたいと思う。また、この経験を生かし て学校経営を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>前回の素々案よりも見やすくなったと感じた。 既に十分に検討した結果であると思うが、目標5の指標が1つの みであり、指標に落とし込むことが難しいのだろうなという印象を 受けた。</p>
委員	<p>写真も加わり、よく整理されたと思う。文化財について問題点が はっきり記されていて、良いと思った。 文化財の整理など、なかなか進んでいない事業もあるが、問題点 として書かれているので、5年後にはきっと素晴らしいものができ ているだろうと期待している。</p>

委員	<p>素々案よりも非常に見やすくなった。記載されていることを実現できるように、PTAとして、地域の人間として、また親として努めていきたいという新たな気持ちが芽生えた。</p>
委員	<p>世の中が良くも悪くも変わっていく中、教育というと勉強や、学校に行くことをイメージするが、保護者や地域がどれだけ関わって、より良い生活を学びの中でしていくべきなのかをここで考えさせていただいている。</p> <p>見える形で事業展開するためにも、所属間に横串をきちんと通し、連携して各事業を進めてもらいたい。</p>
委員	<p>注釈が入り非常に見やすくなった。</p> <p>医療的ケアを必要とする子を支援する訪問看護の仕事をしている。経管栄養を必要とする子ども達に、看護師が学校で注入をすることが可能になってきていることや、医療的ケア児支援法の制定、ICT技術の向上により、医療的ケア児の将来の可能性が広がっていくと思うので、そのようなことにも積極的に取り組んでいきたいと思う。</p>
副会長	<p>こちらの要望に対し、丁寧に真摯に対応してもらったことと、非常に貴重な経験をさせてもらっていることに心より感謝申し上げます。</p>
会長	<p>副会長と同じ思いである。よくここまで仕上げたと思う。内容だけでなく、表紙のデザインもとても良いと思う。</p>
事務局	<p>4 連絡事項 5 閉会</p>